

競技注意事項

1 競技規則について

2021年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項による。

2 招集について

- ①招集所は第1ゲート（100mスタート側）外側に設ける。競技者は招集開始時刻に集合し、できる限り三密状態を避けること。
- ②招集開始及び完了時刻は下記のとおりであるが、詳細は競技日程に記載する。
- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。

種目	招集開始	招集完了
トラック種目	20分前	15分前
走高跳・走幅跳・三段跳	50分前	40分前
砲丸投・やり投	50分前	40分前
棒高跳	1時間40分前	1時間30分前

- ④招集完了5分前までに招集所で待機し、招集所の役員（競技者係）からの最終点呼を受けること。その際アスリートビブス（ナンバーカード）、競技用靴等の点検を受けること。
- ⑤招集は、本人が招集所において受けること。ただし、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、競技者係及び当該審判主任に申し出て了解を得ること。この場合代理人を認める。
- ⑥リレーに出場する競技者で、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、競技者係及び当該審判主任に申し出て了解を得ること。

3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ①アスリートビブス（ナンバーカード）は胸と背に1枚ずつ確実につけること。
女子選手のセパレートタイプのユニフォームについては、ナンバーが審判から見えるように4ヶ所で確実に留めること。
ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- ②トラック種目では、腰ナンバーを右腰後方につけること。
腰ナンバーは招集所にて配布するので、競技者各自が持ち出し、競技終了後は各自の責任において持ち帰り、処分すること。安全ピンは各自持参すること。
- ③ランニングシャツの裾を確実にランニングパンツの中に入れ、腰ナンバーが見えるようにすること。

4 競技場で使用する競技用靴について

- ①スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。
いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。
- ②靴底の厚さは以下のとおりとする。
800m未満のトラック種目：20mm以内
800m以上のトラック種目：25mm以内
- ③トラック種目に出場する競技者は、招集所にて靴底の厚さの確認を受ける。
フィールド種目に出場する競技者の靴底の厚さについては、確認を実施しない。
（日本陸連の指針に則った対応とする。ただしWAランキングには反映されない。）

5 棄権について

出場種目を棄権する場合、本大会においては特に申し出なくとも良い。

招集完了時刻に競技者が競技会場に来ておらず、同一時刻に他種目に出場する旨の連絡もない場合は、棄権したものと見なす。

6 練習について

①佐野市運動公園陸上競技場、多目的広場とする。使用時間は7:30～17:00とする。

②時間帯により、競技会場内バックストレート側を開放する。【競技日程等を参照のこと】

③投てき練習については、競技場所での競技前の練習試技のみとし、それ以外は認めない。

④練習に際しては競技役員の指示に従い、衝突事故等が起きないように、安全に練習すること。

7 競技者の入退場について

①競技者の入退場は、競技役員の指示に従い、規律ある行動をとるよう心がける。入場は第1ゲート（100mスタート地点付近）のみとし、退場は第2ゲート（フィニッシュ地点付近）のみとする。

②バックストレートのウォーミングアップエリアへの入退場は第3ゲート（1500mスタート地点付近）のみとする。

②競技場所への出入りは競技者のみ許可する。付添人・指導者等の入場は不可。

③競技者は第1ゲートおよび第3ゲートの係員にアスリートビブス（ナンバーカード）またはJAAF登録会員証を提示し、入場の許可を得ること。

④トラック競技に出場する競技者は、競技開始前にスタート地点付近に荷物を置き、競技終了後は競技の妨げとならないよう、荷物を取りに行くこと。荷物をとった後も競技の妨げとならないよう、第2ゲートから退場すること。

⑤フィールド競技者も他の競技の妨げとならないよう、係員の指示に従って入退場すること。

8 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順等について

①トラック競技の予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示すので、審判員の指示に従うこと。

②リレー競走に出場するチームはリレーオーダー用紙を作成し、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までにTICに提出する。リレーオーダー用紙はTICで配布する。

③リレー競技に出場するチームは、原則として同一ユニフォームで参加しなければならない。

④タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定については、次のとおりとする。

同記録があり、レーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。（TR 21）

9 跳躍競技（高さ・踏切板の距離）について

（※審判長の判断で、変更することもある。）

種目		練習	試技
走高跳	男子	1.65 1.90	1.70～1.75～1.80～1.85～1.95～2.00～2.05～2.08・以後3cm
	女子	1.35	
棒高跳	男子	2.70	2.80～3.00～3.20～3.40～3.60～3.70～3.80・・・
		4.00	
	女子	1.70 2.50	

①上記以後の高さについては、跳躍審判長の指示による。

②第1位決定のバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

- ④雨天の際は協議の上、高さを変更することもある。
- ⑤三段跳における踏切板の距離については、男子は11m・女子は9mとする。

10 イエローカードについて

イエローカード（以後、YC と称す）に関して、当大会では国内ルールを適用し、以下の様に運用する。

- ①WA 競技規則 TR16 の規定により (a) (b) (c) いずれかの行為を行った時、YC を提示し警告を与える。この場合他種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- ②同一種目で2回のYCを受けた競技者は、該当種目を失格とする。但し、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの累積は、該当種目のみに適用する。

11 競技用器具について

- ①競技に使用する用器具は、検査を受け合格したものについてのみ使用できる。ポールの検査は、招集後現地にて行う。やりの検査については、別途指定する。
- ②検査で合格したやりについては、主催者にて預かり、主催者のものとして使用する。
- ③棒高跳・投擲競技における滑り止め（炭酸マグネシウム）は、本競技会では準備しない。
- ④滑り止めを使う場合は、競技者が各自持参すること。なお、他の競技者と共有しないこと。

12 表彰について

国体予選の部で各種目優勝者には賞状を授与する。

13 競技について

- ①国体予選の部は、トラック競技は予選及び決勝ラウンドを実施する。（参加者が少ない場合は予選を実施せず、決勝のみ実施する場合もある。）フィールド競技（走高跳・棒高跳以外）はトップ8による6回試技を実施する。
- ②記録会の部はオープン種目とし、トラック競技はタイムレース決勝のみ実施する。フィールド競技（走高跳・棒高跳以外）は3回の試技までの実施とする。
- ③トラック競技は、不正スタート1回で失格とする。
- ④長距離種目においては競技運営上、下記の所要時間を超えた場合、新しい周回に入れない。
少男 A5000m は 20 分。少男共通 5000mW は 30 分。
競技運営上、著しく遅れた選手に審判長が競技を中止させる場合がある。
- ⑤リレーについて
 - ア) リレーには各団体および各学校から複数チーム出場することができる。
 - イ) リレーチームの競技者が何らかの理由で欠場し、リレーチームの編成ができない場合、当該団体・学校の競技者で他の種目に出場している選手をリレーメンバーとして起用することは認める。
- ⑥3000m以上の種目で1回のレースに多数の競技者がいる場合、グループスタートを行う。
- ⑦3000m以上の種目の給水については、主催者側が給水所と飲料水を用意する。
- ⑧各競技の結果はWeb上の速報サイトに掲載する。
- ⑨各競技の開始時刻や招集時刻については、プログラムに記載されている競技日程が正式なものである。栃木陸協のWeb速報サイトに記載する競技開始時刻や招集開始時刻は、コンピュータシステムの不具合により、誤った表記をする場合がある。競技日程等については、必ずプログラムに記載されている事項を確認すること。
- ⑩抗議については、TR 8による。
- ⑪助力については、TR 6による。

14 その他

- ①TIC (Technical Information Center) を競技場正面玄関前に設置する。
TIC では、参加団体受付、オーダー用紙の取扱い、競技に関する抗議の受付、プログラム訂正の受付、遺失物保管などの業務を行う。
- ②競技中の傷病などについては、主催者が応急手当をするが、以後の責任は負わない。
- ③各チームの待機場所については、多目的広場周辺芝生および競技場内芝生スタンドとする。
(メインスタンド禁止)
- ④更衣室は更衣のみに使用し、他の目的に使用しないこと。

15 災害時の避難場所

会場責任者の判断により避難の放送が入るので、避難誘導係の指示に従って落ち着いて行動すること。雷発生時などは、競技役員の指示にて屋内に避難する。

16 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事項

- ①新型コロナウイルス感染拡大状況により、参加申込み完了後に競技会を中止とする場合もある。日本政府または各都道府県による緊急事態宣言が発令した場合などは、県外在住の参加者に対して参加を断る場合もある。その際は栃木陸協 Web サイト等で通知する。
また、競技中に発雷等で天候が悪化した場合は、その時点で競技会を中止する場合もある。
- ②大会直前に発熱等の症状が出た者は、大会参加を控えること。
- ③大会に参加する全ての来場者（競技者、指導者、引率者、マネージャーなど）に対し、別紙「大会前体調管理チェックシート」の提出を義務づける。（日本陸連ガイドランスに則った措置とする。）
- ④競技会開催中に体調の異変を感じた場合は、速やかに代表者や顧問教諭に連絡し、主催者の指示を受けること。
- ⑤新型コロナウイルス感染防止対応として、無観客での競技会開催とする。競技者の家族、友人・知人などの観客席への立ち入りを禁止する。
- ⑥練習会場、待機場所、更衣室等において極力三密を回避し、手指等の消毒を随時行う。
全ての参加者は運動時以外は極力マスク等を着用する。
- ⑦中高生が学校所属ではなくクラブ所属として参加する場合、クラブ責任者が競技者を引率し、保護者の観客席への立ち入りは禁止する。
- ⑧運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。ゴミは自己責任で持ち帰る。
- ⑨発声を伴う応援（集団応援も含む）は禁止する。
- ⑩その他、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対応については、栃木陸協 Web サイト等で周知する。

※ 本大会は全国都道府県対抗男子・全国女子駅伝競走ならびに東日本女子駅伝大会の栃木県選手選考会を兼ねる。

【男子 5000m 男子 3000m 女子 5000m 女子 3000m】